

# 助詞一覧(2)

※ ★は現代日本語では一般に用いられない意味・用法を示す。

## II 接続助詞

助詞	主な意味・用法	訳	備考	接続
ば	順接仮定条件	もし…ならば	*「ば」が未然形に付くときは順接仮定条件。	未然形
	★原因・理由	…ので、…から	*例:「京には見えぬ鳥なれば、皆人見知らず」(伊勢物語)	已然形
	★偶然条件	…と、…ところ	*例:「舟より上がり見れば、人住むとも見えざりけり」(一寸法師)	
	恒常条件	…と、…時はいつも	*原因・理由、偶然条件、恒常条件の用法は、いずれも順接確定条件に属する。	
とも	★逆接仮定条件	もし…でも、たとえ…としても	*例:「門を開かれずとも、此きはまで立ち寄りせ給へ」(平家物語)	終止形
ども	★逆接確定条件	…けれども、…のに	*例:「物食はせたれど、食はねば」(枕草子)	已然形
	★逆接恒常条件	…ても必ず	*例:「いかなる大事あれども、人の言ふこと聞き入れず」(徒然草)	
が	逆接確定条件	…けれども、…のに		連体形
	偶然条件	…が、…と、…ところ		
に	★逆接確定条件	…けれども、…のに	*例:「まだ何ごととも語らはぬに、帰りにけり」(伊勢物語)	連体形
	★偶然条件	…が、…と、…ところ	*例:「あやしがりて寄り見るに、筒の中光りたり」(竹取物語)	
	★原因・理由	…ので、…から	*例:「涙のごぼるるに、目も見えず、ものも言はず」(伊勢物語)	
	★添加	…に加えて	*例:「見る目のいと穢げなきに、声さへ似るものなく歌ひて」(更級日記)	
を	★逆接確定条件	…けれども、…のに	*例:「さざなみや志賀の都はあれにしをむかしながらの山ざくらかな」(千載集) *「逆接」の「を」は体言にも付くことがある。	連体形
	★偶然条件	…が、…と、…ところ	*例:「垣のくづれより通ひけるを、度重なりければ、あるじ聞きつけて」(古今集)	
	★原因・理由	…ので、…から	*例:「僧の「…おどろかせ給へ」と言ふを、うれしとは思へども」(宇治拾遺物語)	
て	単純接続	…て、…で		連用形
	状態	…で、…の状態		
	原因・理由	…ので、…から		
して	★単純接続	…て、…で	*例:「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」(方丈記)	連用形
	★状態	…で、…の状態	*例:「彷彿として、長き春の一日には明らめられず」(蘭学事始)	
	★原因・理由	…ので、…から	*例:「都近くなりぬる喜びにたへずして、言へるなるべし」(土佐日記)	
で	★打消接続	…ないで、…なくて	*例:「十月つごもりなるに、紅葉散らでさかりなり」(更級日記)	未然形
つつ	★回復	何度も…て	*例:「野山にまじりて竹を取りつつよろづのことに使ひけり」(竹取物語)	連用形
	★継続	…続けて	*例:「軒を争ひし人のすまひ、日を経つつ荒れ行く」(方丈記)	
	動作の並行	…ながら		
	★複数人による動作	それぞれ…て	*例:「…人々なむ、別れがたく思ひて、日しきりにとかくしつつ、のしるうちに」(土佐日記)	
ながら	動作の並行	…ながら		連用形
	逆接確定条件	…けれども、…のに		
もののものを	逆接確定条件	…けれども、…のに、…ものの		連体形
ものからものゆゑ	★逆接確定条件	…けれども、…のに、…ものの	*例:「待つ人にあらぬものから初雁のけき鳴く声のめづらしきかな」(古今集)	連体形
	★原因・理由	…ので、…から	*例:「ことゆかぬものゆゑ、大納言をそしりあひたり」(竹取物語)	

### Ⅲ 副助詞

ご語	主な意味・用法	訳	備考	接続
だに	★ 最小限の期待	せめて…だけでも	* 例:「散りぬとも香をだに残せ梅の花恋しき時の思ひ出にせむ」(古今集)	体言・連体形・助詞
	★ 類推	…さえ	* 例:「蛭ばかりの光だになし」(竹取物語)	
すら	類推	…さえ		体言・連体形・助詞
さへ	★ 添加	…まで、…までも	* 例:「日は暮れかかりて、…時雨さへうちそそく」(十六夜日記)	体言・連体形・助詞
	類推	…さえ		
のみ	限定	…だけ、…ばかり		種々の語
	強意	特に…、まったく…		
ばかり	程度	…ぐらい、…ほど		体言・終止形・連体形・副詞
	限定	…だけ、…ばかり		
まで	限度・範囲	…まで		種々の語
	程度	…ぐらい、…ほど		
	添加	…まで、…までも		
など	例示	…など		種々の語
	婉曲	…など		
	★ 引用	…などと		
し	★ 強意		* 例:「年経ればよはひは老いぬしかはあれど花をし見れば物思ひもなし」(古今集) * 特に訳さないことが多い。	体言・連用形・連体形・副詞・助詞